

Do you know “Aloha shirts” ?

「アロハシャツ」って知ってる？

Episode:1 History(歴史)

アロハシャツにまつわる様々な説話に、日本人移民が持ち込んだ“着物”が解体されてシャツとして生まれ変わり、アロハシャツの原型が生まれた、というものがあります。

1930年代や1950年代前半のアロハシャツに、着物に使われるような和柄が用いられていることが、そうした理由の一つだと考えられます。

ですが、着物は高価なものであったので、普段着にできるのはなかなか難しいという考え方もあります。

Episode:3 Pattern(柄)

1930年代～1950年代前半は日本の着物に使われるような水墨画風の動植物のモチーフが多くありました。やがて、ハワイの観光産業が本格化すると、南国の花や魚、カヌーやヤシの木などより南国らしい柄が好まれるようになりました。

戦後の一時期再び和柄がブームとなりますが、色が鮮やかに入る「抜染」のプリント技法によって、楽園ハワイのイメージを演出するような明るく派手なトロピカル柄が全盛期を迎えるようになりました。

Episode:2 Material(素材)

アロハシャツには様々な素材が使われていますが、昔ながらのアロハシャツの素材として評価が高いのは「レーヨン」と呼ばれる素材です。汗を吸いやすく、吸収した水分も放出しやすいので、蒸れにくく、また、放熱性も高いことから、暑い夏に着るにはピッタリの素材です。

アロハシャツに柄をつけるのは2つの方法があり、【抜染(ばっせん)】と呼ばれるももとの色を抜くと同時に他の色を入れる技法と、淡い色のシャツにより強い色を重ねる【オーバープリント】とよばれる技法があります。

Episode:4 Aloha Biz(アロハビズ)

茅ヶ崎市では、環境省が推進してきた「クールビズ」に先駆け、茅ヶ崎アロハ実行委員会が夏の間、市役所や金融機関、市内商工業者にアロハシャツ着用を呼びかける活動「アロハビズ」を2003年から実施しています。

この取り組みは、姉妹都市ホノルル市・郡との共通の文化として姉妹都市締結へのきっかけとなりました！

